

ハガイ書
聖徒伝 196

神の宮として 建て上げられよう

ハガイ書

神殿再建の奨励

アウトライン

0. イントロダクション

I. 神殿建設工事の再開 1章

II. 二人の預言者 2章

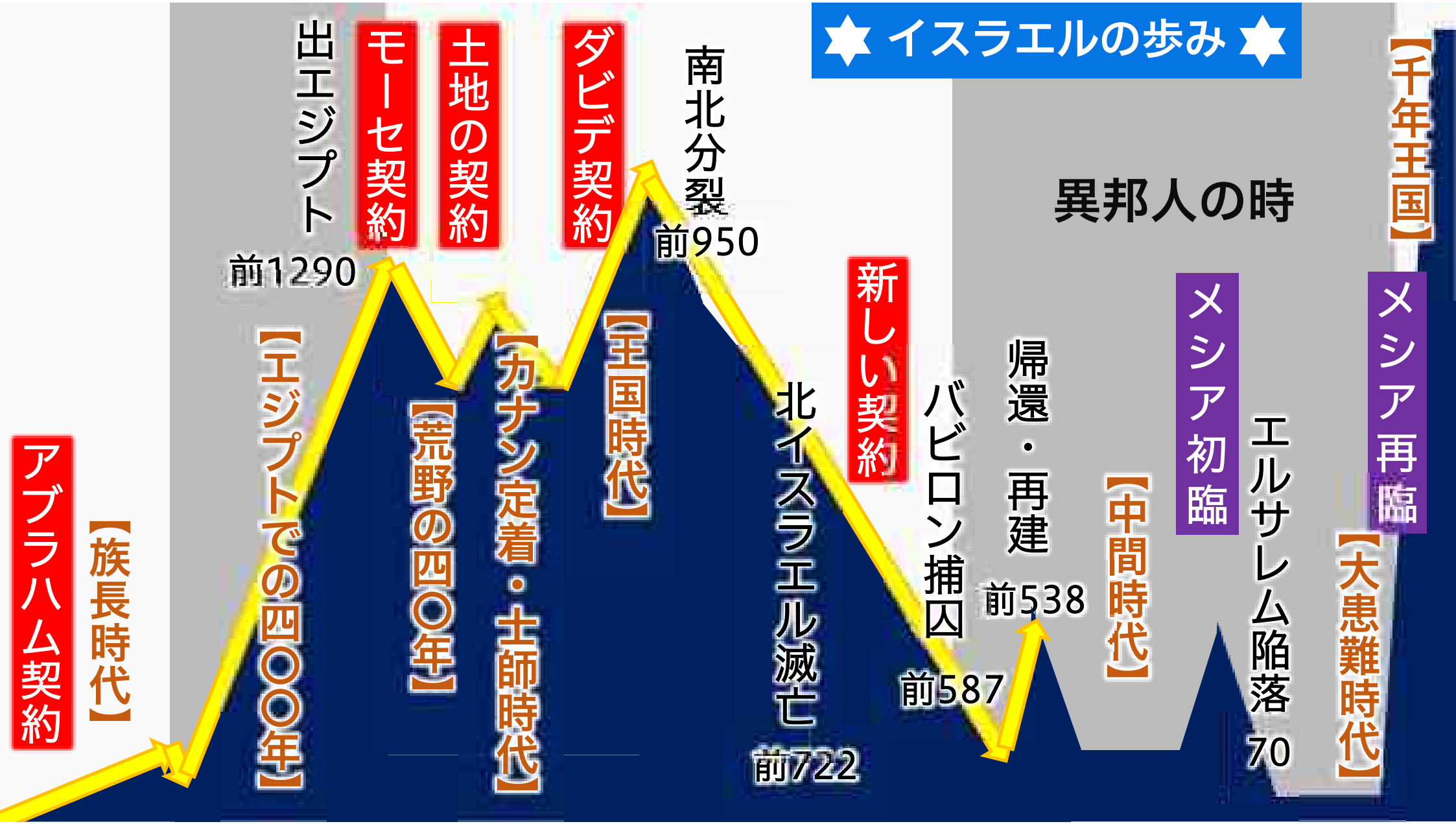
III. まとめと適用

共に建て上げられよう

主の住まわれる宮として



★ イスラエルの歩み ★



アブラハム契約

【族長時代】

【エジプトでの四〇〇年】

モーセ契約

【荒野の四〇年】

土地の契約

【カナン定着・士師時代】

ダビデ契約

【王国時代】

南北分裂

北イスラエル滅亡

前950

新しい契約

バビロン捕囚

前587

帰還・再建

前538

【中間時代】

エルサレム陥落

70

メシア初臨

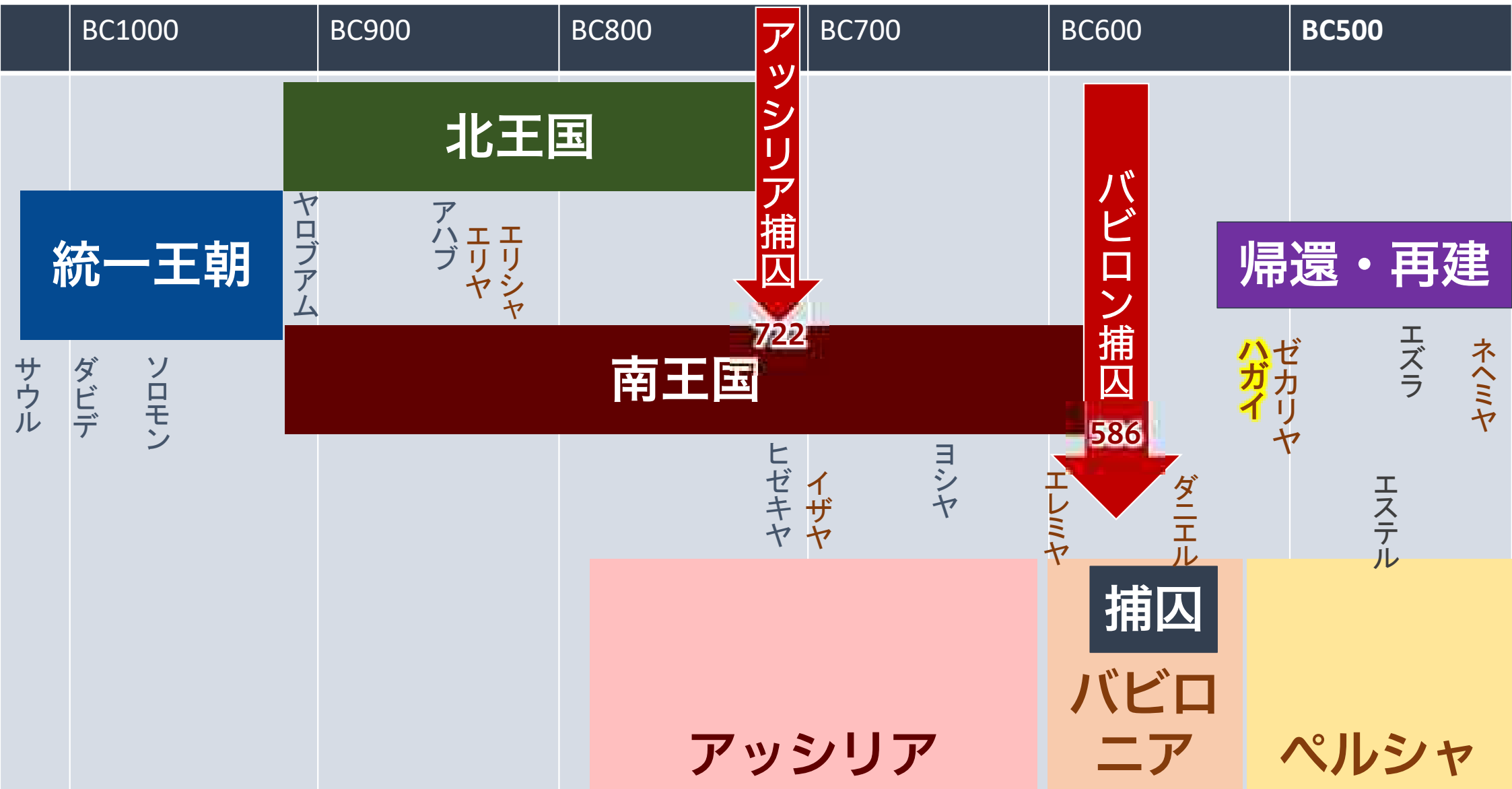
【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】

異邦人の時

イスラエル王国史





アケメネス朝
ペルシャ

ニネベ



バビロン



エルサレム

エジプト

年代表 捕囚後の時代

年代	イスラエル	ペルシャ
前538年	約5万人が帰還 ゼルバベル	バビロン陥落 キュロス王の布告
前520年	ハガイ・ゼカリヤの帰還	ダレイオス王 第2年
前515年	神殿の完成	
前476年	マラキ?!	エステルがペルシャの王女に クセルクス王
前458年	エズラのエルサレム到着 律法の確認・靈的覚醒	アルタクセルクス1世
前444年	ネヘミヤが帰還・城壁再建	

活動期間は
数ヶ月

ゼカリヤ書

エズラ記

前502年(ダレイオス王第2年) ハガイの預言

箇所	月日	預言の内容
春の祭り	第1月14～21日 第3月5日	過越祭 五旬祭
1:1～13	第6月1日	神殿建築の促し
1:14～15	第6月24日	神殿工事の再開
秋の祭り	第7月1～15日	ラッパの祭り・贖罪日・仮庵祭
2:1～9	第7月21日	激励と約束
2:10～19	第9月24日	民の聖別
2:20～23	第9月24日	ゼルバベルの選び メシア預言

三大祭とは重なってない！



Ⅰ. 神殿建設工事の再開

ハガイ書1章

マサダの遺跡

前502年(ダレイオス王第2年) ハガイの預言

箇所	月日	預言の内容
春の祭り	第1月14～21日 第3月5日	過越祭 五旬祭
1:1～13	第6月1日	神殿建築の促し
1:14～15	第6月24日	神殿工事の再開
秋の祭り	第7月1～15日	ラッパの祭り・贖罪日・仮庵祭
2:1～9	第7月21日	激励と約束
2:10～19	第9月24日	聖別
2:20～23	第9月24日	ゼルバベルの選び メシア預言



呼びかけ 預言者ハガイ ハガイ1:1

ダレイオス王の第二年*、第六の月の一日に、預言者ハガイ*を通して、シェアルティエルの子、ユダの総督ゼルバベルと、エホツアダクの子、大祭司ヨシュアに、【主】のことばがあった。



ハガイ
預言者

*前520年。

*“ハグ(祭り)”…祭りの時期に生まれた？

■都エルサレムに預言者が派遣されるのは、捕囚以来。



ゼルバベル
指導者



ヨシュア
大祭司

呼びかけ 民の言い草 ハガイ1:2

万軍の【主】はこう言われる。「この民は『時はまだ来ていない*。【主】の宮を建てる時は』と言っている。」

*15年以上、神殿再建工事は中断したまま。



呼びかけ 廃墟のままの宮 ハガイ1:3~4

すると預言者ハガイを通して、次のような【主】のことばがあった。「この宮が廃墟となっているのに、あなたがただだけが板張りの家*に住む時だろうか。」

*木材は高級建材。

➡木板で内張りをするのは豪邸。

■ 神殿工事の中断が長引く中、
神殿の建材が横流しされてしまった?!



呼びかけ 窮乏の日々 ハガイ1:5～6

今、万軍の【主】はこう言われる。「あなたがたの歩み*をよく考えよ。

多くの種を蒔いても収穫はわずか。食べても満ち足りることがなく、飲んでも酔うことがなく、衣を着ても温まることがない。金を稼ぐ者が稼いでも、穴の開いた袋に入れるだけ。」

- 工事中断以来、エルサレムでは、凶作による窮乏が続いていた。



呼びかけ 建築の促し ハガイ1:7~8

万軍の【主】はこう言われる。「あなたがたの歩みをよく考えよ。

山に登り、木を運んで来て、宮を建てよ*。
そうすれば、わたしはそれを喜び、栄光を現す。——【主】は言われる——

*三つの動詞の命令形

➔信仰の民に求められる具体的行動



呼びかけ 飛ばされた富 ハガイ1:9

あなたがたは多くを期待したが、見よ、得た物はわずか。あなたがたが家に持ち帰ったとき、わたしはそれを吹き飛ばした。それはなぜか。——万軍の【主】のことは——それは、廃墟となったわたしの宮のためだ。あなたがたがそれぞれ、自分の家のために走り回っていたからだ。

- 神殿建設を放置して、自分の生活を優先していた帰還民たち



呼びかけ 刈り取り ハガイ1:10~11

それゆえ、あなたがたゆえに、天は露を滴らすのをやめ、地はその産物を出すのをやめた。

わたしはまた、日照りを呼び寄せた。地にも山々にも、穀物にも新しいぶどう酒にも油にも、地が産み出す物にも、また人にも家畜にも、手によるすべての労苦の実にも。」

- 神殿工事が中断している期間、
飢饉と困窮がエルサレムの民を苦しめた。



民の応答 民の恐れ ハガイ1:12~13

シェアルティエルの子ゼルバベルと、エホツァダクの子、大祭司ヨシュアと、民の残りの者すべては、彼らの神、【主】が預言者ハガイを遣わされたとき、彼らの神、【主】の御声と、ハガイのことばに聞き従った。民は【主】の前で恐れた。

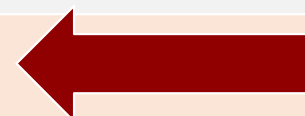
【主】の使者ハガイは【主】の使命を受けて、民にこう言った。「わたしは、あなたがたとともにいる——【主】のことば。」

- 悔い改め、立ち返ったエルサレムの民。
主の命令に聞き従い、主を恐れた。



前502年(ダレイオス王第2年) ハガイの預言

箇所	月日	預言の内容
春の祭り	第1月14～21日 第3月5日	過越祭 五旬祭
1:1～13	第6月1日	神殿建築の促し
1:14～15	第6月24日	神殿工事の再開
秋の祭り	第7月1～15日	ラッパの祭り・贖罪日・仮庵祭
2:1～9	第7月21日	激励と約束
2:10～19	第9月24日	聖別
2:20～23	第9月24日	ゼルバベルの選び メシア預言



民の応答 工事の再開 ハガイ1:14~15

【主】が、シェアルティエルの子、ユダの総督ゼルバベルの霊と、エホツァダクの子、大祭司ヨシュアの霊と、民の残りの者すべての霊を奮い立たせたので、彼らは自分たちの神、万軍の【主】の宮に行き、仕事に取りかかった。それは第六の月の二十四日*のことであった。

*ハガイが主の命令を告げてから、
わずか23日後に、工事が再開された





II. 過去の罪と将来の祝福

ハガイ書2章

ユダの荒野

前502年(ダレイオス王第2年) ハガイの預言

箇所	月日	預言の内容
春の祭り	第1月14～21日 第3月5日	過越祭 五旬祭
1:1～13	第6月1日	神殿建築の促し
1:14～15	第6月24日	神殿工事の再開
秋の祭り	第7月1～15日	ラッパの祭り・贖罪日・仮庵祭
2:1～9	第7月21日	激励と約束
2:10～19	第9月24日	聖別
2:20～23	第9月24日	ゼルバベルの選び メシア預言



神の奨励 主の言葉 ハガイ1:15～2:2

ダレイオス王の第二年、第七の月の二十一日*に、預言者ハガイを通して、次のような【主】のことばがあった。

「シェアルティエルの子、ユダの総督ゼルバベルと、エホツァダクの子、大祭司ヨシュアと、民の残りの者に次のように言え。

*最初の預言から約一月半。

…この間に秋の祭りが祝われているはず。



神の奨励 嘆きの声 ハガイ2:3

『あなたがたの中で、かつての栄光に輝くこの宮を見たことがある、生き残りの者はだれか。あなたがたは今、これをどう見ているのか*。あなたがたの目には、まるで無いに等しいのではないか。

*基礎を据えた時、老人たちは嘆き叫んだ。

エズラ3:12

■以前の神殿と比べ、あまりにみすぼらしく、何より神の栄光の臨在がない!!



神の奨励 強くあれ ハガイ2:4

しかし今、ゼルバベルよ、強くあれ。——
【主】のことば——エホツァダクの子、大
祭司ヨシュアよ、強くあれ。この国のすべ
ての民よ、強くあれ。——【主】のことば
——仕事に取りかかれ。わたしがあなたが
たとともにいるからだ。——万軍の【主】
のことば——

「神は仰せられた。『わたしが、あなたとと
もにいる。これが、あなたのためのしるし
である』 出エジプト 3:12」

主の約束が民を
奮い立たせる



神の約束 恐れるな ハガイ2:5

あなたがたがエジプトから出て来たとき、わたしがあなたがたと結んだ約束により、わたしの霊*はあなたがたの間にとどまっている。恐れるな。』

*主の霊がイスラエルを奮い立たせる

「それから主はヌンの子ヨシュアに命じられた。『強くあれ。雄々しくあれ。あなたはイスラエルの子らを、わたしが彼らに誓った地に導き入れるのだ。わたしが、あなたとともにいる』 申命記 31:23」



神の奨励 主の曰 ハガイ2:6

まことに、万軍の【主】はこう言われる。
『間もなく、もう一度、わたしは天と地、
海と陸を揺り動かす。

わたしはすべての国々を揺り動かす。すべ
ての国々の宝物がもたらされ、わたしはこ
の宮を栄光で満たす*。——万軍の【主】は
言われる——

* 神殿が栄光で満たされるのは、千年王国

■ 大患難時代の最後、再臨のメシアが、
悪を裁き、天地を造り変えられる。



神の奨励 栄光の宿る宮 ハガイ2:8~9

銀はわたしのもの。金もわたしのもの。
——万軍の【主】のことば——

この宮のこれから後の栄光は、先のものに
まさる*。——万軍の【主】は言われる——
この場所にわたしは平和を与える。——万
軍の【主】のことば。』」

*将来、メシアによってもたらされる栄光

- 千年王国では、メシアが宮に住まわれる。
新天新地では、メシアご自身が宮。



前502年(ダレイオス王第2年) ハガイの預言

箇所	月日	預言の内容
春の祭り	第1月14～21日 第3月5日	過越祭 五旬祭
1:1～13	第6月1日	神殿建築の促し
1:14～15	第6月24日	神殿工事の再開
秋の祭り	第7月1～15日	ラッパの祭り・贖罪日・仮庵祭
2:1～9	第7月21日	激励と約束
2:10～19	第9月24日	聖別
2:20～23	第9月24日	ゼルバベルの選び メシア預言



民の聖別 神の問い ハガイ2:10~12

ダレイオスの第二年の第九の月の二十四日、預言者ハガイに次のような【主】のことばがあった。「万軍の【主】はこう言われる。律法について、祭司たちに尋ねよ。」

人が**聖なる肉***を自分の衣の裾に入れて運び、その裾がパンや煮物、ぶどう酒や油、またはどんな食物にでも触れた場合、それは聖なるものとなるか。」祭司たちは「否」と答えた。

***主にささげる特上の犠牲の動物の肉**



民の聖別 汚れの原則 ハガイ2:13

そこでハガイは言った。「もし死体によって*汚れた人が、これらのどれかに触れたら、それは汚れるか。」祭司たちは「汚れる」と答えた。

*死体に触れる者は汚れる(レビ11章他)

■きよいものに触れても、きよくはなれない。
けがれたものに触れると、けがれてしまう。



民の聖別 けがれの内に ハガイ2:14

それに応じてハガイは言った。「この民も、この国も、わたしにとってはそれと同じ。——【主】のことば——彼らの手が作ったすべての物もそれと同じ。そこで彼らが献げる物も汚れている。」

- イスラエルの民も国も汚れている。彼らがささげるものも汚れている。

真のきよめは主がもたらされる



民の聖別 悔い改めを ハガイ2:15~16

さあ今、あなたがたは、今日から後のこと*をよく考えよ。【主】の神殿で石が積み重ねられる前、あなたがたはどうであったか。二十の麦束が積んであるところに行っても、あるのは十束。ぶどう酒五十杯を汲もうと石がめに行っても、あるのは二十杯。

*今日、悔い改めて、将来に備えよ。

■ 神殿建設が中断して以降、思うような収穫の半分も得られなかった。

➔ 確認される過去の罪



民の聖別 民の離反 ハガイ2:17

わたしはあなたがたを、あなたがたの手が作ったすべての物を、立ち枯れと黒穂病と雹で打った。しかし、だれ一人わたしに帰って来なかった。——【主】のことは——

■ 主の懲らしめによって不作になっても、イスラエルは主に立ち返らなかった。

➔ ダメだしされるエルサレムの民

民の側に、祝福に値するものは何もない



民の聖別 悔い改めて ハガイ2:18~19

さあ、あなたがたは今日から後のことをよく考えよ。第九の月の二十四日、【主】の神殿の基が据えられた日から後のことをよく考えよ。

種はまだ穀物倉にあるのか。ぶどうの木、いちじくの木、ざくろの木、オリーブの木は、まだ実を結ばないのか。今日から後、わたしは祝福する*。」

*ハガイの預言を受け、悔い改めた民に、主の祝福が再び注がれ、工事は進む。



主の憐れみと
恵みの内に

前502年(ダレイオス王第2年) ハガイの預言

箇所	月日	預言の内容
春の祭り	第1月14～21日 第3月5日	過越祭 五旬祭
1:1～13	第6月1日	神殿建築の促し
1:14～15	第6月24日	神殿工事の再開
秋の祭り	第7月1～15日	ラッパの祭り・贖罪日・仮庵祭
2:1～9	第7月21日	激励と約束
2:10～19	第9月24日	聖別
2:20～23	第9月24日	ゼルバベルの選び メシア預言



将来の祝福 主の日 ハガイ2:20~23

その月の二十四日、ハガイに再び次のような【主】のことばがあった。

「ユダの総督ゼルバベルに次のように言え。
『わたしは天と地を揺り動かし、もろもろの王国の王座を倒し、異邦の民の王国の力を滅ぼし尽くし、戦車とその乗り手をくつがえす。馬とその乗り手は味方の剣によって倒れる。』」

■ゼルバベルに告げられたのは**終末預言**。

➔再臨のメシアによる裁きと世界の回復



将来の祝福 神の選び ハガイ2:23

その日、——万軍の【主】のことば——
シェアルティエルの子、わたしのしもべゼ
ルバベルよ、——【主】のことば——わた
しはあなたを選んで印章*とする。わたしが
あなたを選んだからだ。——万軍の【主】
のことば。』」

*印が彫られた指輪

➡神のものとされ、手放されない

■ゼルバベルの名は、メシアの系図に

(マタイ1:12)





Ⅲ. **まとめと適用** 共に建て上げられよう 主の住まわれる宮として

ハガイ書のまとめ

- 栄光の臨在がない粗末な神殿への落胆、敵の妨害、困窮した生活…
15年以上も中断したままだった神殿工事。
- 預言者ハガイが伝えた主の言葉で民は発憤し、工事を再開。
→ **“わたしがともにいる”** 主の約束と聖霊の臨在が力を与えた。
- 第二神殿に神の栄光の臨在はないが、**主が民と共に**おられる。
指揮にあたったダビデの子孫ゼルバベルは、**メシアの系譜**に!!
- 大患難の最後、メシアの勝利が、将来の希望として告げられた。

世の終わりまでともにおられる主の約束が力となった!!

神殿の過去・現在・未来

段階	時代と役割	栄光の臨在
幕屋	モーセ～ダビデ	あり
第一神殿	ソロモン～ゼデキヤ …バビロン捕囚で破壊(BC856)	あり (捕囚以前に消失)
第二神殿	ゼルバベル～ヘロデ大王が大拡張 …ローマにより破壊(AD70)	なし (主イエスが来訪)
第三神殿	大患難時代中期には存在 …反キリストが蹂躪、軍勢が破壊	なし
千年王国	世界の都エルサレム …全世界の民が礼拝	あり (主イエスが住む)
新天新地	新しいエルサレムには神殿はない …主イエスご自身が神殿	あり (主イエスが神殿)

今の時代に取り組むべき神殿建設とは？

- 教会堂は、神殿ではない。会堂建築へのハガイ書の適用は的外れ。
- 今の時代の神殿は、聖霊が住まわれる**信者一人一人**。
信じた一人一人が建材となって、**一つのキリストの体**・神殿である**普遍的教会**が建てあげられていく。
- 私自身を主の宮の建材として、内住される御霊によってきよめられ、兄弟姉妹の交わりの中、神の家族として神殿に組み上げられていく。
- 世の終わりまで共におられる、**主の御言葉**に生かされながら。

神の栄光を現すべき、聖霊の宮

■コリント人への手紙第一6:18~19

淫らな行いを避けなさい。人が犯す罪はすべて、からだの外のものです。しかし、淫らなことを行う者は、自分のからだに対して罪を犯すのです。

あなたがたは知らないのですか。あなたがたのからだは、あなたがたのうちにおられる、神から受けた**聖霊の宮**であり、あなたがたはもはや自分自身のものではありません。

あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから、自分のからだをもって**神の栄光**を現しなさい。

神が住まわれる、聖なる宮

■エペソ人への手紙2:19～22

こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、聖徒たちと同じ国の民であり、**神の家族**なのです。

使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられていて、キリスト・イエスご自身がその要の石です。

このキリストにあって、建物の全体が組み合わされて成長し、**主にある聖なる宮**となります。

あなたがたも、このキリストにあって、ともに築き上げられ、御霊によって**神の御住まい**となるのです。

★ 神の宮として共に建て上げられよう ★

■ 福音を信じて義と認められた、私の内に聖霊が住まわられている。御霊に満たされ、きよめられ、**キリストのからだなる教会**に連なり、**神の宮**として建て上げられていこう。

■ 自分の課題から目を逸らさず向き合い、**聖霊**に委ねていこう。共におられる**主の御言葉**に、日々すがって力を得よう。**神の家族**の関係性の中に身を置き、共に歩んでいこう。

■ 主イエスご自身が宮となり、栄光として臨在される、来たるべき**神の王国**を待ち望み、主の約束に支えられて今を歩もう。

主の宮として建て上げられつつ、栄光の主を待ち望もう!!

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

わたし せいれい す しゅ みや
私は、聖霊の住まわれる主の宮とされました。

か ひと しゅ しんでん いちぶ
私は、一つのキリストのからだなる、主の神殿の一部です。

しゅ みことば いしづえ きょうだいしまい まじ うち た あ
主の御言葉を礎に、兄弟姉妹の交わりの内に、建て上げられます。

しゅ えいこう ぜんち み とき ま のぞ いま とき あゆ
主の栄光で全地が満たされる時を待ち望み、今この時を歩みます。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」